

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年11月4日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0872100284		
法人名	有限会社 カサブランカ		
事業所名	有限会社 カサブランカ	ユニット名	
所在地	〒311-1204 茨城県ひたちなか市平磯遠原町17-14		
自己評価作成日	平成23年5月9日	評価結果 市町村受理日	平成23年10月31日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成23年6月16日	評価確定日	平成23年10月26日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

家庭的、家族的な雰囲気作りを目指しています。
------------------------

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

代表者を中心に管理者と職員は理念に基づいた支援に努めており、利用者と職員の笑い声が聞こえる家庭的な雰囲気の事業所である。 管理者は事業所でできる最大限の支援をしたいと努めており、他事業所では受け入れが困難な利用者でも、市の依頼を受けて受け入れるよう取り組んでいる。 代表者や管理者、職員が連携して支援をしている様子は、利用者や家族等の安心につながっているほか、近隣住民と信頼関係を築いており、事業所の緊急時には近隣住民が駆け付けてくれている。
---

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を管理者と全職員は、共有している。又、意識づけしていくために、会議などのなかで話し合ったりして、実践につなげている。	「明るく、家庭的な雰囲気のもとに、地域社会や家族とのむすびつきを大切にし、その人らしい安心した生活が出来るよう、支援させていただきます」を理念とし、会議等で共有を図りながら実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の散歩や買い物の際に、挨拶や会話をかわしながら日常的に交流している。又、地域の祭りや自治会の奉仕活動に参加させていただいたり、中学生の体験学習を受け入れたりホームの行事などにご近所の人々を招待したりして交流している。	利用者は散歩や買い物時に近隣住民と挨拶を交わしたり、公園の清掃活動に職員と一緒に参加するなど、地域の一員として日常的に交流している。 近隣住民に声をかけ、バーベキューなどの事業所行事に招待している。 地域の祭りは利用者の楽しみの一つとなっており、山車が事業所の前で止まったり、子ども会が踊りを披露している。 中学生の職場体験学習を受け入れている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の祭りや自治会の奉仕活動に参加させていただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者やサービスの実際、取り組み状況等の報告や話し合いを行っている。又、運営推進会議の話し合いで、公園の草むしりなど奉仕作業などの参加の実現やドライブする時の良い場所などを教えていただいたりと、サービス向上に活かしている。	運営推進会議は家族等の代表や地域包括支援センター職員、自治会長、民生委員、事業所職員で2ヶ月に1回開催している。 会議では利用者やサービスの状況、外部評価への取り組みを報告したり困っていることを話し合っているほか、委員から外出場所の情報を得て出かけるなど、出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。 委員からの地域への働きかけにより、利用者も公園の清掃活動に参加できるようになった。 欠席した委員や市担当課、家族等には議事録を送付し報告している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	分からないことや、利用者様の様子など、市担当課を訪問したり、電話で連絡を取り合ったりしている。事業所の運営に関しての疑問やサービスの取組みなどを相談するなど、協力関係を築くように取り組んでいる。	管理者は市担当者に日頃から運営上の手続きや利用者への支援のあり方などを相談し、話し合いの中から協力関係を築くように努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設勉強会等、代表者及び全ての職員が具体的な行為を正しく理解していると思います。又、身体拘束をしないケアに全員が取り組んでいる。	身体拘束をしないケアに関するマニュアルを作成するとともに、勉強会を開催し全職員が身体拘束の内容とその弊害を正しく理解している。 身体拘束廃止委員会を設置し、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 やむを得ず身体拘束を行う場合には、家族等に説明し書面で同意を得ることとしている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法についても、施設勉強会等を開催し、身体拘束の重大さが浸透している。又、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護や成年後見制度についての研修などに出席。又、以前に社協の地域福祉権利擁護事業を使っていたご利用者がいたため、職員も周知していると思います。今後も必要な方達に活用できるよう、勉強していきたいと思っています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご利用者の方や、ご家族が理解・納得を得られるよう、時間をかけて説明を行っている。又、ご利用者・ご家族等に不安等のある場合お試し入居など、十分に納得していただいた末に契約を結んだりしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居契約時、ご利用者・ご家族には苦情相談（意見・要望）について、文章により明確に説明を行っている。又、日々の生活の中で意見・要望などないか、職員がさりげないコミュニケーションの中で聞き出したりと配慮してケアを行っている。	重要事項説明書に事業所と第三者機関の苦情相談受付窓口を明記している。 利用料の支払いは振り込みではなく来訪してもらい、家族等との面会の機会が多くなるように工夫をしている。 玄関に意見箱を設置したり、居室の入口に訪問記録ノートを用意し家族等が意見や要望を出せるように工夫をしているが、意見等を汲みあげるまでには至っていない。	意見や要望を出し難い利用者や家族等に配慮し、無記名のアンケートを実施して意見等を汲みあげるよう工夫することを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月行っているカンファレンス時に職員の意見・提案を聞く機会を設け、職員の働きやすい職場の環境づくりなど、反映させている。	管理者は月1回定例ミーティングを開催し職員の意見や提案を聴く機会を設けるとともに、職員との食事やレクリエーションなどの機会にコミュニケーションを図り、意見や提案を気軽に出せるような関係づくりに努め、働きやすい勤務体制や働きがいのある職場の環境づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	シフト作成など、カレンダーに職員が自由に休みを書き入れ、職員が向上心をもって働きやすいよう、整備に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	自由に研修や試験に参加できるよう、シフト調整など、協力的に行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	茨城県地域密着型介護サービス協議会・茨城県老人福祉施設協議会・ひたちなか市社協等に入会しており、勉強会等、交流する場があり、色々な情報や分らない事、困っている事その他、勉強させていただいている。又、それをサービスの質の向上につなげられる為非常に助かっている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人によりそいながら、安心して生活ができるよう、日々、努力をしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様によりそいながら、関係づくりに日々、努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス利用段階時、ご本人・後家族が何を必要としているのか？今後どのようにしていきたいのか？良く話し合いをし、グループホームとして可能な限りのサービス提供の対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ホーム全体が家庭的・家族的な雰囲気であり「一つ屋根の下、皆、家族！」の心意気で関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	その時々においては、ご家族に相談しながら、参加していただいたり、ご本人を共に支えていく体制で取り組んでいる。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の思いを大切にし、友達や馴染みの場所など、ご本人の訴えがある時などは、連絡を先にとるなどして、連れていってあげたり、又、遊びにきてもらったりとしている。	利用者の親戚や友人が来訪している。 職員は利用者の希望にそって友人を訪問できるように同行したり墓参りに付き添うなど、馴染みの人や場所との関係が途切れないように支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	「一つ屋根の下、皆、家族！」の心意気を時折、ご利用者様に話しており、時には、助けたり、助けられたり！と言う関係で生活を送っている。又、その支援に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族も高齢化していることもあり、様々な形でご家族にたいしても支援を行っています。近隣のご利用者の方が多いため、温かなつながりを大切にしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の思いを大切にし、けして無理強いせず本人のペースにあわせての支援の体制作りに取り組んでいる。	職員はアセスメントや申し送りなどから利用者の情報を把握するとともに、さりげなく話しかけて思いや意向の把握に努め、利用者の希望にそった支援ができるよう努めている。意向の把握が困難な利用者の場合は、家族等から話を聴いて利用者本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用者一人ひとりの生活歴を把握すると共に、その時々場面において、出来ることなどを手伝っていたり、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人ノートの記録や、スタッフによる報告など、現状を把握するように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月、カンファレンスを行っている。又、本人・家族・医師・看護師の意見など定期的に聞き、介護計画を作成している。	毎月カンファレンスを行ったり、利用者や家族等、医師、看護師などの意見等を介護計画に反映させている。介護支援専門員は日々の記録等から利用者の支援経過を把握し、サービス担当者会議で3ヶ月毎に評価を行い介護計画を見直している。利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、現状に即した介護計画に見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人ファイルを用意しており、個人のケース記録をそれぞれ月別に記入している。バイタル・食事水分摂取量・口腔ケア・整容・内服薬点眼・排泄・気付きなど、その日の行動等、様々な角度から、ご利用者の方をとらえて記入している。介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個別ケアの取り組みとしても、本人の要望等に応じられるよう、職員の配置などにも気を配り、柔軟な支援が出来るよう、日々、頑張っ取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の中での奉仕活動や祭り、近隣の方々とのコミュニケーションなど、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう、日々、支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診に関しては、本人、家族の希望を大切にしている。又、受診後の報告など、電話連絡や、必要に応じては、家族の付き添いなどの受診を行っている。かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	利用者や家族等が希望するかかりつけ医への受診を職員が付き添い支援するとともに、受診結果を家族等に報告している。 重度化している利用者には訪問診療を利用して適切な医療が受けられるように支援をしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師などと、日々の情報や気付きなどを、相談している。又、適切なアドバイスや看護を受けている。		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、病院関係者との情報交換や相談は常にしている。又、入院時より毎日、顔を出すようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人・家族等との話し合いを行っている。又、本人・家族等の要望を大切にかかりつけ医と相談しながらカンファレンスを開催し、職員との方針の共有をしている。その人それぞれに合った取り組みを行っている。	看取り介護マニュアルを作成するとともに、重度化した場合や終末期のあり方を早い段階から関係者で話し合い、利用者や家族等に事業所の対応指針を説明し同意を得ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	実践力を身につけられるよう、カンファレンス時、必要に応じて勉強会などを開催している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	様々なケースのご利用者の方々の避難方法について、訓練を通して、全員が身につけていると思う。又、今回の大地震の災害時についても、地域の方々の協力により、ご利用者の方々、怪我もせず、無事に避難することができました。	事業所独自の通報訓練や消火訓練、避難訓練を実施しているが、消防署立会いや夜間を想定した避難訓練を実施するまでには至っておらず、近隣住民の参加も得られていない。避難訓練で明らかになった課題を記録に残すまでには至っていない。災害時に備え食糧品や飲料水などを備蓄している。	消防署立会いのもと総合訓練や夜間を想定した避難訓練を実施するとともに、近隣住民の参加を得るなど協力体制を築くことを期待する。次回の訓練に活かせるよう、避難訓練で明らかになった課題や反省点などを記録に残すことを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの確保、言葉かけや対応など、カンファレンス時、話し合ったり、検討したりして対応をしている。	職員は常に利用者一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。 個人情報に関する書類は事務室の書棚に保管するなど、取り扱いに十分注意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が自己決定ができるよう、全職員ケアを行っている。働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	必要な場面において、職員を手厚く配置したり、一人ひとりのペースを大切にし、支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その都度、ご利用者の方と職員が一緒になって洋服を選んだり、さりげなく支援に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	現在のところ、職員と一緒に準備や食事をする事は困難ですが、食事後、食器を下げてくださいなど、その日の体調や能力にあわせて、片付けをしていただいている。	職員は利用者と会話をしながら楽しく食事ができるように支援をしている。利用者はできる範囲でテーブル拭きなどを行っている。献立に利用者の好物を取り入れたり、季節が感じられるような旬の食材を利用しているほか、利用者の希望により外食するなど、食事に変化のあるものとなるよう工夫をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人ファイルに毎日の栄養摂取量、水分量のチェック項目があり、全職員が周知できるようになっている。又、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは行っている。又、本人の力に応じた口腔ケアを行っている。個人ファイルに毎日の口腔ケアチェック項目あり。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中、夜間の排泄状態について、排泄パターンを職員全員が理解・把握しており、自立に向けた支援を行っている。	職員は排泄チェック表を活用し利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、利用者の様子や時間を見計って声かけ誘導し、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援に努めている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因や影響を全職員が理解している。おやつなどにも、なるべく手作りで、素朴ではあるが、ふかし芋など繊維者が豊富にふくまれているような食べ物を工夫しているつもりである。又、毎日の散歩など運動なども個々に応じて取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	現在は、毎日入浴は行っています。入浴者の基本の順番はありますが、入りたい方は体調にあわせてその都度入浴していただいています。入浴の長さは個人の希望にあわせています。入浴時間については、ご利用者の方の疾病などもからみ現在のところ日中で行っています。	職員は利用者一人ひとりの体調や希望にそって毎日入浴ができるように支援をしている。入浴を拒む利用者にはタイミングを見計らいながら言葉かけに工夫をし、無理のないよう促している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりのペースにあわせて全職員がケアを行っており、夜間に関しても目が覚めてしまうご利用者の方に対し、夜勤者が一緒に時間を過ごすなど安心できるよう支援している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬については、再三の注意をしているつもりです。カンファレンス時にご利用者の方の疾病。それによる薬。どういう病気で、どういう薬が出ていて、どういう副作用があって、という事については、話し合いを行っている。又、個人ファイルにその都度、新しくなった処方箋をつけている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者の方のペースにあわせて、ご自分の部屋や共有スペースのお掃除をしていただいたり、気分転換等の支援としては、外食、買い物、ドライブ等に出かけたりと支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段は 行けないような場所でも、本人の 希望を把握し、家族や地域の人々 と協力しながら出かけられるよう に支援している	ご利用者の方の希望がある時は、出 来うる限り希望にそって、用事や買 い物など戸外に出かけている。	天気の良い日には利用者の体調や希望にそっ て散歩や買い物などに出かけている。 季節毎に花見や弁当持参のピクニックなどの 計画を立て、利用者ができるだけ戸外に出かけ られるように努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人ひ とりの希望や力に応じて、お金を 所持したり使えるように支援して いる	金銭管理は、施設側で行っていますが、その時々（買い物、孫などにあ げる小遣いや、お祝い等・・・）に よって、使えるように支援してい る。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電 話をしたり、手紙のやり取りがで きるように支援をしている	ご家族に電話をかけたり、かかって きたりと支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居 間、台所、食堂、浴室、トイレ 等）が、利用者にとって不快や混 乱をまねくような刺激（音、光、 色、広さ、温度など）がないよう に配慮し、生活感や季節感を採り 入れて、居心地よく過ごせるよう な工夫をしている	食事やお茶の場所が、ご利用者の方 達の集まる中心の共用空間となっ ており、自由に過ごす場所となっ ている。季節ごとの花を飾ったりと工夫 をしている。	共用空間は温度や光の調節をして居心地よく 過ごせるように配慮をしている。 居間にカレンダーや時計を掛けて生活感を取 り入れるとともに、利用者の作品を飾ったり 所々に椅子を置き寛いで過ごせるように工夫を している。 入り口から玄関にかけて植物が植えられ、手 入れが行き届いており家庭的な温かい雰囲気と なっている。 アパートを改修した事業所で、距離が有るゆ るやかなスロープを設置して1階と2階を移動 するよう設計されており、利用者のリハビリに も役立っている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間として、食事やお茶を飲む場所がご利用者の方達の中心集まる場所ではあるが、その他に長いすなだを置き、独りになれたり、気の合ったご利用者同士お話し出来るよう、工夫に努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が居心地良く過ごせるように、使い慣れた物や馴染みのある物など、本人や家族と相談しながら、工夫をしている。	利用者は居室に使い慣れた家具や飾り物などを置いて、自分らしく落ち着いて暮らせるように工夫をしている。 仏壇を置き、花や線香を供えている利用者もいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人と家族より承諾書をとっており、部屋の入り口に名前を分かるようにだしてある。又、混乱や失敗を防ぎ、安全で自立した生活が送れるよう工夫している。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない



(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 有限会社カサブランカ

作成日 平成23年10月27日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	意見や要望を出し難い利用者や家族等に配慮し、無記名のアンケートを実施して意見等を汲みあげる様工夫する。	無記名のアンケート用紙を利用して、家族等の意見等を汲みあげていきたい。	無記名のアンケート用紙を作成し家族等の意見等を汲みあげられる様にする。	1ヶ月
2	13	消防署立ち会いのもと総合訓練や夜間を想定した避難訓練の実施。課題・反省点を記録に残す。	消防署の協力を得た避難訓練を定期的の実施し、課題や反省点を記録に残す。	防災専門家による避難訓練等や、課題や反省点等の記録等を行う。	6ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。